

2015年度 中学校の重点目標

民族学校としての建国、私立学校としての建国、両方の側面から更に学校教育力をアップし、生徒の知・徳・体の総合的な伸張を図る。

1. 民族教育

本校建学の精神と学校方針を十分に学校関係者・生徒・保護者に伝え、学校の教育目標がより高い次元で実現できるように協力体制を作る。

2. 学習

分かりやすい授業・集中して取り組める授業を目指し、基礎を固め、それぞれの力に合った更なる学力の向上を図る。

3. 基本的な生活習慣

集団生活の中から規範意識を高め、基本的な生活習慣を養い、心身共に健やかな成長を目指し、充実した中学生生活を送る。

4. 学校環境整備

学習環境を整え、清潔で整備された学校を目指す。身の回りの整理整頓、清掃を心がける態度を養う。

5. 人権教育の推進

全ての人の人権が重要であることを認識できるようにし、自分の人権だけでなく、他人の人権をも、共に尊重する教育を実施する。

2015 년도 중학교 중점 목표

민족학교로써의 건국, 사립학교로써의 건국, 어느 쪽에도 모자람이 없이 더욱더 교육력을 높여, 학생의 조화로운 지·덕·체 신장을 도모한다.

1. 민족 교육

본교의 건학 정신과 학교 방침을 학교 관계자 · 학생 · 학부모들에게 충분히 이해할 수 있도록 하여, 학교의 교육 목표가 보다 높은 차원에서 실현될 수 있도록 협력 체제를 만든다.

2. 학습

이해하기 쉬운 수업, 집중할 수 있는 수업을 목표로, 기초를 다지고 각각의 힘을 합한 새로운 학력 향상을 도모한다.

3. 기본적인 생활 습관

집단생활 속에서 규범의식을 높이고, 기본적인 생활습관을 익혀, 건강한 몸과 마음을 기르는 성장을 목표로 충실한 중학교 생활을 보낸다.

4. 학교 환경 정비

학습환경을 정돈하며, 깨끗하게 정비된 학교를 만들도록 한다. 자기 주위를 항상 정리정돈하며 청소를 깨끗이 하도록 한다.

5. 학생 인권 교육의 추진

모든 사람의 인권이 중요하다는 것을 인식할 수 있도록 하여, 본인의 인권뿐만 아니라 타인의 인권을 함께 존중하는 교육을 실시한다.

2015年度建国中学校 学校評価生徒アンケート

実施2016年1月

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

教員自己評価はAを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点として全教員の平均を算出 単位は%

番号	設 問	生徒集計結果						教員 自己評価	<input type="checkbox"/> よくあてはまる <input type="checkbox"/> ややあてはまる <input type="checkbox"/> あまりあてはまらない <input type="checkbox"/> まったくあてはまらない
		A	B	C	D	A+B	C+D		
1	本校創立の精神と歴史を理解している。 本校 창립 정신과 역사를 이해하고 있다.	20	51	22	7	71	29	3.2	
2	本校の教育理念・目標を理解している。 本校의 교육이념과 목표를 이해하고 있다.	20	40	29	11	60	40	3.1	
3	学校に誇りを持っている。 학교에 대한 긍지를 가지고 있다.	32	48	20	0	80	20	3.2	
4	授業は集中して受けている。 수업 시간마다 집중하여 수업을 듣고 있다.	36	48	16	0	84	16	3.3	
5	授業は工夫されていてわかりやすい。 수업은 잘 연구하여 가르치고 있으며 이해가 잘 간다.	21	53	22	4	74	26	3	
6	授業のわからないところなどについて質問しやすい。 수업 중 모르는 부분에 대하여 질문하기 편하다.	34	38	21	7	72	28	3.5	
7	基本的な生活習慣がつくようにしっかりと指導している 기본적인 생활 습관이 형성되도록 제대로 지도하고 있다.	36	43	18	3	79	21	3.2	
8	安心・安全な学校である 안심하고 안전하게 다닐 수 있는 학교이다.	49	34	14	3	83	17	3.3	
9	学校行事(体育祭・文芸祭・球技大会・修学旅行等)は充実していて楽しい。 학교 행사(체육제/문예제/문예제/구기대회/수학여행 등)는 알차고 즐겁다.	41	39	16	4	80	20	3.2	
10	学校行事は、年間を通してうまく配置されている。 학교행사는 한 해동안 적절하게 안배되어 있다.	29	36	26	8	65	35	3	
11	선생님의指導は校則に従って適切に行われている。 선생님의 지도는 교칙에 따라 적절하게 이루어지고 있다.	38	43	14	5	81	19	3.3	
12	선생님은生徒の人権を尊重した態度で生徒に接している。 교사는 학생의 인권을 존중하는 마음으로 학생을 대한다.	25	46	22	6	72	28	3.4	
13	선생님은生徒一人ひとりの性格や長所・短所をよく把握している。 선생님은 학생 한 사람 한 사람의 성격이나 장·단점을 잘 파악하고 있다.	29	41	20	9	71	29	3.1	
14	悩みを相談する環境がある。 고민을 상담할 수 있는 환경이다	38	26	25	11	64	36	3.4	
15	学校生活の中できちんとあいさつするよう心がけている。 학교 생활 중에 제대로 인사를 하기 위한 노력을 하고 있다.	67	26	4	2	94	6	3.8	
16	先輩や 선생님などの目上の人にていねいな言葉遣いをしている。 선배와 같은 상급자나 선생님께 정중한 말씨를 사용하고 있다.	49	41	8	1	91	9	3.1	
17	校内の美化・清掃にしっかり取り組んでいる。 교내 환경 미화와 청소를 제대로 하고 있다.	43	43	12	2	86	14	3.3	
18	校内の施設・備品を大事に使っている。 교내의 시설과 비품을 소중히 사용하고 있다.	57	38	3	2	95	5	3.2	
19	学習に熱心に取り組んでいる。 학업에 열심히 매진하고 있다.	42	44	8	5	86	14	3.1	
20	記念講話などで話される内容を理解できる。 기념 훈화 등에서 말한 내용을 잘 이해할 수 있다.	38	33	17	13	71	29	3	

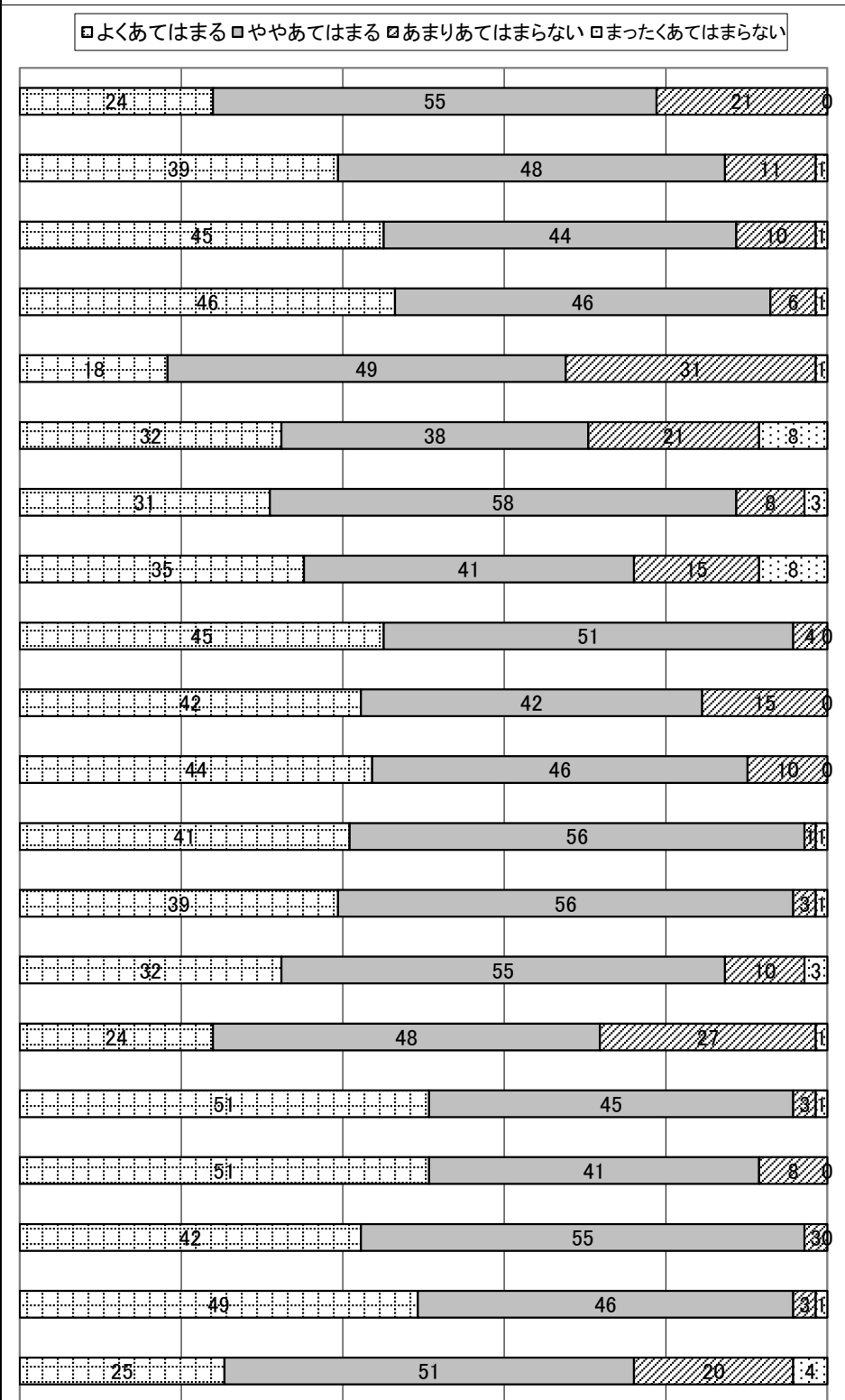
2015年度建国中学校 学校評価保護者アンケート

実施2016年1月

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

単位は%

番号	設 問	集 計 結 果				A+B	C+D
		A	B	C	D		
1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている。 학교는 교육방침을 알기 쉽게 전달하고 있다.	24	55	21	0	79	21
2	学校が保護者に出す文書や事務連絡等は適切である。 학교가 보호자에게 보내는 문서나 사무 연락 등은 적절하다.	39	48	11	1	87	13
3	生徒は学校に行くのを楽しみにしている。 학생은 학교에 가는 것을 즐겁게 생각하고 있다.	45	44	10	1	89	11
4	生徒の学習の状況を懇談等を通じて知ることができる。 학생의 학습 상황을 간담회 등을 통해서 알 수 있다.	46	46	6	1	93	7
5	生徒は授業がわかりやすいと言っている。 학생은 수업의 내용이 이해가 잘 된다고 한다.	18	49	31	1	68	32
6	生徒は授業以外での学校や、家庭での学習活動にも積極的だ。 학생은 수업 외의 학습활동도 적극적으로 한다.	32	38	21	8	70	30
7	基本的な生活習慣に対する指導が行われている。 기본적인 생활 태도에 대한 지도가 행해지고 있다.	31	58	8	3	89	11
8	帰宅時刻は中学生らしく適切である。 귀가 시간은 중학생답게 적절하다.	35	41	15	8	76	24
9	安心・安全な学校である。 안심하고 안전하게 다닐 수 있는 학교이다.	45	51	4	0	96	4
10	学校行事(体育祭・文芸祭・球技大会・修学旅行等)の内容は充実している。 학교 행사(체육제/문예제/문예제/구기대회/수학여행 등)의 내용은 알차다.	42	42	15	0	85	15
11	学校行事は、年間を通して適切に配置されている。 학교행사는 한 해동안 적절하게 안배되어 있다.	44	46	10	0	90	10
12	教師の指導は校則に従って適切に行われている。 교사의 지도는 교칙에 따라 적절하게 이루어지고 있다.	41	56	1	1	97	3
13	教師は生徒の人権を尊重した態度で生徒に接している。 교사는 학생의 인권을 존중하는 마음으로 학생을 대한다.	39	56	3	1	96	4
14	教師は生徒一人ひとりの性格や長所・短所を把握している。 교사는 학생 개개인의 개성과 장·단점을 파악하고 있다.	32	55	10	3	87	13
15	生徒が悩みや相談を話しやすい環境である。 학생들이 고민을 말하거나 상담을 하기 쉬운 환경이다.	24	48	27	1	72	28
16	生徒は学校生活の中できちんとあいさつをしている。 학생들은 학교 생활 중에 인사를 제대로 하고 있다.	51	45	3	1	96	4
17	生徒は目上の人にていねいな言葉遣いをしている。 학생들은 위사람에게 공손한 말씨로 말하고 있다.	51	41	8	0	92	8
18	校内の美化・清掃が行き届いている。 교내 환경미화와 청소는 제대로 되어 있다.	42	55	3	0	97	3
19	生徒の友人関係は良好である。 학생과 친구들의 관계는 양호하다.	49	46	3	1	96	4
20	学習に対する取り組みの姿勢ができていいる。 학생은 학습에 대한 노력의 자세가 되어 있다.	25	51	20	4	76	24



2016年5月吉日

学校法人白頭学院
理事会・評議員会 貴下

白頭学院建国中学校
学校関係者評価委員会
委員長 玄由美

2015年度学校関係者評価

○学校関係者評価内容

：生徒・保護者のアンケート並びに、教員による自己評価を踏まえ作成された学校の自己評価に対して、その妥当性を評価し、また、改善法案などの意見交換を実施。

○学校関係者評価委員会実施について

- ・日程：2015年3月17日
- ・場所：白頭学院 会議室
- ・学校関係者評価委員会人員構成(参加者)： 4名

中学校	玄由美	P T A会長
	尹智援	P T A副会長
	李乙峰	P T A副会長
	李鐘建	教 頭

初めに：

当委員会は、「学校の重点目標」、「生徒アンケート」、「保護アンケート」、「学校自己評価」の結果を受け、「学校自己評価」が適切な評価であるかを中心にして、以下の「学校関係者評価」を行いました。

○「学校評価」について

別紙参照

2015年度・平成27年度学校評価（学校法人白頭学院建国中学校）

目指すべき学校像	国際社会に生きる人材育成を最高の目標とし、人格の完成、豊かな情操を育み、探求心旺盛な自主的・自律的な精神に満ちた心身共に健全な人間育成に期する。
----------	--

達成度	A	ほぼ達成 (80%以上)
	B	概ね達成 (60%以上)
	C	変化が見られる (40%以上)
	D	不十分 (40%未満)

重点目標	A 民族教育 建学の精神を伝え、教育目標が高い次元で実現するように協力体制をつくる。 B 学習 わかりやすい授業展開し、生徒全員の学力向上を目指す。 C 生活習慣 心身共に健全な成長を目指す。 D 人権教育 他人を思いやる心を育て、人権の重要性を認識する。 E 環境整備 学習環境を整え、清潔で整備された学校を目指す。
------	---

達成度は生徒アンケートで、「よく当てはまる」「やや当てはまる」の数値(%)の合計で表す。

学校評価		年度目標		年度評価(3月12日現在)			
番号	アンケート番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
A	1.2.3.20	学校創立70年を迎え、一大行事であった校舎立替も終わり、民族学校として本校は新しい時代を迎えようとしている。新しい環境の中で、創立者たちの建学の精神を受け継ぎ、現代社会のニーズを取り入れた教育の実践が本校の課題である。民族教育を通じて人として「生きる力」を養い、隣人たちと共生し、国際社会に貢献できる人材を育てるのが本校の目標である。中学生という多感な生徒たちに、いかに「学ぶ」か、何故「学ぶ」かを理解させつつ、生徒個々が国際意識が芽生えることを期待する。	生徒が自身のルーツを考えると共に、学校の設定経緯から、民族教育が目標とする人間像を理解する取り組みの実施。	・文化祭の取り組みに、「在日」の歴史に関わり、「戦後70年」というタイトルで展示活動、調べ学習を行なう。 ・創立記念講和、4.24記念講和、解放記念講和等の歴史的背景を説明するプリントの生徒による読み合わせを検討。	・「学校に誇りを感じる」生徒が80%を超える。 ・「学校設立」背景を理解する生徒が80%を超える。 ・本校が目指す生徒像を理解する生徒が80%を超える。	・「学校に誇りを感じる」生徒が80%を超えるが、学校が生徒に何を期待するは60パーセントに留まった。 ・校舎再建築前の校舎は「歴史」を感じる面もあったが、新しい環境の中で、学校の歴史、意義、誇りを感じ取ることの難しさを痛感する1年であった。 ・2年振りの体育祭や文化祭が例年のように、校内で実施することができ、生徒たちは連帯意識や団結心を養った。 ・全体行事の文化祭や体育祭では生徒たちが目的意識をはっきりさせることができた。	B
B	4.5.6.19	昨年度のアンケートの結果を踏まえて、生徒は「授業への集中」「授業の分かりやすさ向上」を目指した。その対策の一つに、生徒の心の動きを担任や教科指導が把握するために、「スコラ」の活用を徹底している。「スコラ」を通じて、助言、激励を行ない[やれば、できる]の達成感を生徒に感じさせる必要がある。生徒のやる気を向上させる大きな要因は、教員にあることを再確認して、さらに生徒たちが飛躍できるようにしなければならない。	積極的な学習活動への取り組み	・学習活動記録手帳「スコラ」の活用方法を生徒に再確認させ、自身の学校生活の指標になるように位置づける。 ・「スコラ」はその日の生徒の学習内容を始めとした一日の行動内容、心の動きが綴られているので、担任は日々「スコラ」から生徒の行動や心の動きを読み取ることができる。	・日々の「スコラ」の記入と提出を徹底する。 ・「スコラ」の活用による成果が現れるように、的確に生徒たちの行動を見守る。 ・「授業に集中している」「授業が分かりやすい」生徒が80%を超える。	・「授業に集中している」生徒が昨年同様に上昇し、80%を超えた。 ・中学2年生が生徒増により、2学級に分けたことで集中して授業に取り組むことができた。 ・各担任による「スコラ」の指導が徹底されたため、生徒アンケートから生徒が積極的に授業に参加していることが理解できる。	B
			確かな学力の向上と授業改善の研究	・生徒も教員も時間を守る。 ・授業開始終了の挨拶徹底指導。 ・実力試験に向けた学習活動の奨励	・生徒の自宅学習の指導計画を定期的に確認する。 ・学習への意欲向上を目指す	・生徒が自身の学習活動について肯定的に考える傾向が強くなった。 ・「スコラ」の活用が良い影響をおよぼしている。	
C	7.8.9.10.11.15.16	・概ね生徒たちは、本校での学校生活に満足感を感じているようである。それは生徒のみならず保護者からも「楽しんで学校に行っています。」という声をよく聞く。しかし反面では、生活習慣の乱れ、校則違反、遅刻等が立つ生徒も徐々に増加している。・「時間厳守」「挨拶励行」をスローガンに朝校門指導を行っているが、フィードバックが必要である。 ・安全で安心な学校づくりのため、校舎の立替を行い新しい環境で学習活動に取り組むように、今後も努力を継続する。また、生徒に最も近い担任や教科担当の指導力、授業力の向上が最も不可欠な部分であり、生徒達が自ら体験し、行動する環境づくりに取り組む必要がある。	学校生活を充実させるために。	・登校指導の継続 ・毎週の朝礼時での生活目標の確認と励行の呼びかけ ・生徒が主体の学校行事の実施に向けた取り組み方法の検討。 ・姉妹校との交流活性化 ・交換留学の奨励	・生徒の行事に対する満足度80%以上を目指す。 ・アンケートによる改善点の見直し ・生徒指導規定の規範意識の向割合を向上する。	・教員の指導が偏りなく行われていると判断する生徒が80%以上であり、生徒の信頼を得ていると判断する。 ・アンケートから生徒たちはさまざまな学校行事に満足感を覚え、積極的に取り組もうとする姿勢がうかがえる。	A
			安全・安心で規律正しい学校生活づくりの推進	・外部講師による防犯教室、薬物乱用防止教室の実施。 ・交通規則改正の説明、特に自転車のルール改正の説明と指導の徹底 ・SNSの正しい利用方法の講習の実施	・登下校での安全意識の確認と他人への安全配慮の確認。 ・登校指導を計画的に行い生徒のマナー意識が高まるように指導する。	・登下校時の自転車による交通安全意識を高める必要性を感じる事案が数件起きている。 ・学校全体的に生徒個人がに節度があり、安全教育について見つけなおす機会を設定する必要を感じた。	
			学校行事を通じた人格形成の充実	・2年振りの校内実施の文化祭、体育祭への取り組み意欲の確認。 ・姉妹校交流の意識拡大。 ・姉妹校との交換留学を実施して学習意欲を高める。	・行事内容にかかわらず生徒の主体性を重視する。	・「学校行事」の満足度が80%で、ほぼ達成することができた。 ・各行事についても、生徒が自発的、積極的に取り組み、生徒会活動も活性化したが、日程の設定に検討を要する傾向が見られる。	
D	12.13.14	今年度も外部団体と協力して「高齢者施設訪問」「身体障害者理解学習」「車椅子体験」等を行った。生徒たちはいずれの取り組みにも積極的であり、各団体からも評価を受けた。また、道徳の時間を利用して「差別」「平等」「国籍」「違い」などをテーマにした授業を行っている。しかし、個人レベルの人権意識が本当に浸透しているかを調べるのは困難であり、不明確な点も多いのも事実である。生徒の悩みや不安をどのような形の解決策につながるかを、見守る必要がある。	自分を認め、他人の存在を認める「心」の余裕を身につける。	・生徒の悩みや相談に迅速に応答できるように、スクールカウンセラーとの面談をできやすいようなシステムをつくる。 ・スクールカウンセラーの継続 ・外部団体との協力体制の維持と強化 ・教員による生徒一人ひとりとの面談回数の増加。	・安心して悩み事を相談できると答える生徒の割合から、生徒の交友関係の重要性を再認識できる。 ・思春期のものの捉え方を教員側が理解するかが重要である。	・全般的に生徒間では、相手に対する「いたわり」など人権を意識した行動や行動が見られる傾向にあるが、同一人物が自己中心的に行動する場面が見られるケースがあった。 ・社会規範に触れるような、実生活において他人への「配慮」が不十分な面が多々見られた。	B
E	17.18	・校舎が新しくなった影響で、生徒たちの美化意識は相当に高いものが見られる。そのような中でも、故意に施設を乱暴に扱ったりする傾向も一部で見られることが残念である。 ・生徒達の美化意識が継続するような取り組みが必要である。	美化意識の向上から教育環境の健全化と安全な学校づくりを目指す。	・校内美化状況の確認と点検方法の見直し ・清掃活動奨励の強化 ・清掃用具の点検と充実	・日常生活の中から常に教室内が整理整頓された状態であるように心がける意識を持たせる。 ・美化意識が強い生徒が80%を超える。	・日ごとの清掃活動から生徒たちが「自分たちの学校」として、本校に愛着を感じていると感じ取ることができる。 ・教室内の整理整頓も十分にできている。	A

学校関係者評価	
実施日	2016年 3月 12日
学校関係者の意見・評価等	
A 民族教育	韓国語能力試験において学校全体で、成績が上がっているということは大変評価できる。しかし、建国の教育理念・目標を理解している生徒が40%と低いことが目立った。建学の精神の浸透の不十分さが残る。多くの生徒が学校に誇りを持っていると答えたことは、建国の名を背負った各クラブの多方面での活躍も、民族意識に大きく影響していると思う。普段の学校生活では限りもあるが、イベント的な取り組みを通して自分たちのルーツをもっと生徒に印象付けることも出来るのではないかと、という学校側からの意見も聞いた。また民族資料コーナーの活用にも期待したい。
B 学習	8割強の生徒が集中し授業を受けていると自覚しており、授業が分かりやすいと答えた生徒は70%を超え、昨年より上昇傾向にある。先生方にはこの数字に満足することなく、切磋琢磨して頂き、さらなる学力の向上を図って頂きたい。教師が生徒一人ひとりと向き合えるのは建国の強みである。学習面で個々にあった、より柔軟で具体的なアドバイスを取らなければならぬという保護者からの意見も出た。
C 生活習慣	学校内には、生徒が先生や保護者と校内ですれ違う時に挨拶をするというのが当たり前前の光景としてある。礼節を重んじ目上の人を敬う、先生や先輩を通じて世代から世代へ確実に受け継がれている。大人の社会でも重要な習慣を子供たちはしっかり身に付けている。一方で、登下校において生徒は制服を着て建国の看板を背負っているという自覚を持たなければならない。校内安全だけでなく登下校時のマナー指導、防犯に対する意識づけも引き続き実施を願う。
D 人権教育	在日の生徒がたくさん通うこの学校での人権教育は、非常に重要である。日本社会において、在日であることがハンデのある立場になりうるので、子供の自己肯定の確立が、社会に出たときに子供を守る強力な盾となる。時間は限られているが、高齢者や体の不自由な方々の話を聞く機会が設けられている。子供には、実生活の身近な人間関係の中で常に弱者の立場に立って考え行動するということを、考えさせなければならない。また、スクールカウンセラーは利用の回数が増えてきている。学校内で、多感な年代の生徒が悩みを直面したときの解決の糸口として確立され始めている。
E 環境整備	今年度は、新校舎でスタートした。掃除を熱心にする生徒が増え、物損事項等も細かく管理するなど、教師も生徒も美化意識が変わったという。敷地の四方が建物で閉鎖的だった校庭も、開放的になり建国が明るくなったような印象を受ける。建て替えに尽力してくださった多くの方に感謝の気持ちを忘れず、後輩に大切に引き継いでいくことを願う。